

周防大島町の話題



▲紅白餅合戦の様子

周防大島高校生徒がPR動画で「山口大島みかん」の魅力を発信

1月25日、JA山口県 島の恵み本店において、周防大島高校の生徒が制作した「山口大島みかん」のPR動画のお披露目がありました。

PR動画は、柳井・大島地域「地産・地消」推進会議が、若い消費者に山口大島みかんの魅力をアピールすることを目的に周防大島高校に依頼。周防大島高校3年生フィールドワークⅡ「DASH島」コースの8人が地域の方などの協力を得ながら2本の動画（1本60秒）を制作しました。当日は、この他にも周防大島高校生徒が出演する動画2本もお披露目されました。

完成した動画は、県内125カ所に設置してあるデジタルサイネージ（電子看板）で放映されています。



▲消防署および消防団による放水訓練の様子

周防大島をまるかじり

1月22日、3年ぶりに「周防大島まるかじり」が日良居庁舎駐車場および日良居グラウンドで開催され、町内外から約8千人の来場がありました。

日良居庁舎側では、町内の飲食店などが軒を連ね、名物料理や特産品などの販売やステージイベント、恒例の「みかん鍋」の振る舞いが行われました。

日良居グラウンド側では、今回も「紅白餅合戦」と銘打って、総数2万個の餅が宙を舞いました。また、自衛隊や警察の緊急車両乗車体験や、キッズ郵便局、出張なぎさ水族館、ちょび塩（減塩）体験・クイズコーナーなどが設けられ、多くの方で賑わいました。



▲完成した動画を見る制作に携わった生徒（右から栗栖日向さん、録田悠希さん、岡原有希さん、久保 亮さん）

電子看板は、町内では、島の恵み本店、島の恵み小松店、道の駅サザンセットとうわに設置されています。

文化財を火災や災害から守る

1月26日、文化財防火デーの一環として、昨年2月に国の登録有形文化財（建造物）になった日本ハワイ移民資料館において、消防訓練が実施されました。

訓練には、地域住民の方をはじめ、消防署員、消防団員約30人が参加し、通報訓練、けが人の救助訓練、バケツリレーによる初期消火訓練や消火ホースを中継しての放水訓練などが実施されました。

また、消防署員による消火器の取り扱い講習も行われました。